

平成23年度 第2回金沢市入札制度評価委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成23年8月30日(火) 金沢市役所 第1委員会室		
委員 (委員数5名) (出席数5名)	委員長 坂井 美紀夫(弁護士) 委員 尾島 茂樹(金沢大学教授) 委員 川村 國夫(金沢工業大学教授) 委員 後藤 正美(金沢工業大学教授) 委員 米田 満(公認会計士)		
次第	1 開会 2 審議 (1) 審議事項 ア 工事等に係る入札及び契約手続きの運用状況等について (ア) 平成23年4月1日から7月31日までにかかる本市発注工事及び工事 関連委託業務の結果について (イ) 入札参加資格停止の運用状況及び談合情報への対応状況等について イ 委員があらかじめ抽出した工事案件等に係る業者選考等の経緯について エ その他 3 閉会		
審査対象期間	平成23年4月1日～平成23年7月31日		
抽出案件	7件		
工事	制約付き一般競争入札	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金沢駅西バスロータリー歩道整備工事 ・ 中央通町地内ガス管及び配水管改良工事 ・ 鈴木大拙館(仮称)屋外電気設備工事 ・ 金沢城北市民運動公園 多目的広場改修工事
	指名競争入札		該当なし
	随意契約	1件	・ 西部水質管理センター汚泥脱水設備等定期修繕工事
委託	制約付き一般競争入札	1件	・ 本庁舎耐震補強工事(設備工事)実施設計業務委託
	指名競争入札	1件	・ 上寺津発電所取水口建屋及び基礎補強設計業務委託
	随意契約		該当なし
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問	回答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による報告 又は意見の具申	平成23年度第1四半期の発注工事に係る入札・契約手続きの運用については、概ね適正に行われていると判断する。		

(お問合せ) 〒920-8577 金沢市広坂1-1-1
 金沢市総務局監理課
 電話:076-220-2101

別紙

総括

各委員からの意見は、概ね以下のとおりであった。

- 1 入札制度について、入札、落札状況等を注視し、国・県・他都市の状況を踏まえて検討していくこと。
- 2 優良施工業者の意欲を高める入札制度を検討していくこと。

なお、意見の詳細は次のとおり。

意見・質問	回答
<p>1 工事に係る入札・契約手続きの運用状況等</p> <p>落札率と工事成績評点との関連はないとのことだが、工事難易度との関連はあるか。</p> <p>予定価格3,000万円以上の工事と予定価格3,000万円未満の工事の落札率では差があるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・落札率と工事成績評点、工事難易度との関連はないと考えている。一般競争入札の入札参加申込において、入札参加業者は工事難易度を判断することができ、施工可能な工事業者が入札に参加している。工事成績評点は、工事の施工体制や工事目的物の出来ばえ、工事に対する創意工夫について評定しているため、落札率と工事成績評点、工事難易度との関連はないと考える。 ・予定価格の高低により、落札率が上下する傾向が見られるが、ほぼ差はない。
<p>2 委託業務に係る入札・契約手続きの運用状況等</p> <p>プロポーザル方式で業者選考を行う設計業務を実施する予定はあるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ、設計業務公募型プロポーザル方式実施要綱の基準に該当する設計業務は予定されていない。
<p>3 委員があらかじめ抽出した工事に係る業者選考等の経緯</p> <p>金沢駅西広場バスロータリー歩道整備工事</p> <p>最低制限価格に近い価格での入札が多数あったが、これについてはどう考えているか。</p> <p>中央通町地内ガス管及び配水管改良工事</p> <p>落札業者が舗装工事業を主業種とする工事業者であるが、これについてはどう考えているか。</p> <p>鈴木大拙館（仮称）屋外電気設備工事</p> <p>予定価格の積算は適正であったか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、価格競争方式入札工事は、最低制限価格制度を適用している。本工事以外の土木工事業者対象の入札においても、最低制限価格に近い金額での入札が多くなっており、本工事のみ特別とは考えていない。 ・金沢市の入札参加資格において、土木工事業者の資格を有している。また、平成22年度において、同種工事の施工実績があることから、適正な履行が可能であると考えている。 ・該当工種の積算基準に基づき、積算しており、適正と考えている。

金沢城北市民運動公園 多目的広場改修工事

特に意見なし。

西部水質管理センター汚泥脱水設備等定期修繕工事

どの程度のサイクルで行う定期修繕工事なのか。

・1年間に2回のサイクルで行っている。

本庁舎耐震補強工事（設備工事）実施設計業務委託

最低制限価格制度により、最低価格提示者を落札者とし
ない場合、市としては、金額面でデメリットになると考
えるが、これについてはどうか。

・業務委託は、予定価格を事後公表としている。ダ
ンピング受注を防止し、適正な履行を確保するた
め、最低制限価格を設定することは妥当であると
考えている。

上寺津発電所取水口建屋及び基礎補強設計業務委託

指名業者はどのような基準で選考しているか。

・市内に営業所を有し、同種業務の実績を有する業
者を選考している。

入札業者間で入札価格に大差があることについて、ど
のように考えているか。

・予定価格が事後公表であることと、発電所という特
殊施設の設計業務であることが影響していると思
えている。